

2012 le 7 Avril

高知日仏協会会報

幻の「ユダヤ劇場」大壁画公開

シャガールが初めてフランスにやってきたのは1911年、23歳のとき。愛する婚約者ベラを故郷に残しての渡仏でした。その頃のフランスはフォービズムやキュビズムといった新しい芸術運動が盛んで、若い画家たちが切磋琢磨していました。シャガールは渡仏の翌年からパリにある「ラ・リーシュ（蜂の巣）」という、若き日のモディリアーニやキスリングも出入りしていたアトリエに住んで研鑽を積み、サンドラールら詩人とも出会いました。シャガールの革新的で詩的な画風は、この時代に確立されたのです。

本展覧会では、このフランス時代の作品を含む109点の名画でシャガールの半生を紹介します。モスクワにかつてあったユダ

高知に集う109点

「シャガール・愛の物語」展に寄せて

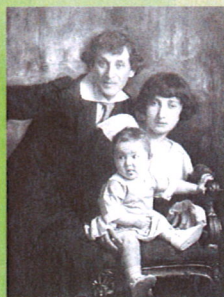
高知県立美術館学芸員

村山 望
むらやま のぞみ



《街の上で》1914-18年 トレチャコフ美術館蔵
©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2012, Chagall®
Photography©The State Tretyakov Gallery

ヤ劇場を彩った、全長8メートルに及ぶ壁画も四国初上陸します。世界有数のシャガール・コレクションを誇る当館だからこそ実現できた、今までにないスケールの展覧会です。ぜひ、シャガールの幻想的で美しい世界をご覧ください。



マルク・シャガール、ベラ、イダ 1916年
© Archives Marc et Ida Chagall, Paris

[特別展]

シャガール 愛の物語

2012年4月8日(日) - 6月3日(日)

主催: 高知県立美術館・高知新聞社・RKC高知放送

特別協力: トレチャコフ美術館、ロシア美術館、公益財団法人ポーラ美術館興財団 ポーラ美術館 協力: JAPAN AIRLINES Lufthansa Cargo

後援: 外務省、在日ロシア連邦大使館、ロシア連邦文化協力庁、在日フランス大使館、高知県、高知市、高知県教育委員会、高知市教育委員会、NHK高知放送局、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知、高知シティFM放送

お問い合わせ: 高知県立美術館 TEL088-866-8000 高知新聞企業 事業企画部 TEL088-825-4328

高知県立美術館



『再結婚式』の町、マントン

コート・ダジュールの旅(最終編)

Dernière escapade sur la Côte.....

アンリ・ル・ギユ (Henri LE GUILLOU)

コート・ダジュールの紹介の締めくくりとして、今号ではニースからイタリア方面へと向かいます。まずはニース港からBasse Corniche バス・コルニッシュを通過して5kmの隣町、世界で最も美しい停泊地といわれるヴィルフランシュ・シュール・メールへ。夏のシーズン中はクルーズ客船、無数のヨットが入り江に溢れんばかりに停泊しているのが高台から眺められ、宝石がキラキラしている様にも見えます。旧市街のみどころは、16世紀に建設された素晴らしい城砦と、1957年に有名なジャン・コクトーが修復・装飾を手掛けたサン・ピエール礼拝堂（もともとは漁師に捧げられていた）があります。

Cette fois ci, pour en terminer avec la Côte d'Azur et notre visite, allons dans la direction de l'Italie voisine, par la basse corniche au départ de Nice la capitale.

Prenons la route du bord de mer en direction de **Villefranche-sur-mer** qui est une superbe cité, d'origine ancienne, à seulement 5 kms de Nice et qui tient sa renommée par son incroyable rade, une des plus belles du monde, lieu de mouillages de gros bateaux de croisières. Elle est aussi une ville de culture, en particulier la citadelle, superbe fortification du XVI siècle à visiter ainsi que la chapelle Saint Pierre XIV siècle dédiée au patron des pêcheurs, redécorée en 1957 par l'illustre Jean COCTEAU

次に訪れたいのはたくさんの緑に囲まれたオアシスの様な高級リゾート地、**サン・ジャン・カップ・フェラ**。282ヘクタールの小さな半島の町ですが、ヴァカンスを過ごすには理想的な場所です。ビーチでゆっくりするのもいいですし、フェラ岬の遊歩道を大邸宅や美しい庭園を眺めながらのんびりと散歩したりするなど、リラックスした休日にお勧めです。

徒歩で行けるすぐ隣の町、**ボーリュ**もサン・ジャン・カップフェラと同じ様に高級別荘に囲まれ、とてもエレガントな町です。古代ギリシャの邸宅を模したヴィラ・ケリロスは素晴らしく見どころがたくさんあります。

Ensuite, **Saint-Jean Cap Ferrat**, véritable oasis de verdure, petite presqu' ile de 282 hectares, destination idéale pour des vacances, plages et sentiers touristiques en bordure de mer ou de nombreuses et luxueuses villas et magnifiques jardins se melent, une véritable séduction pour le visiteur, vous incite à passer quelques jours de détente. Vient ensuite **Beaulieu**, jouxtant Saint Jean Cap Ferrat, également entouré de demeures fastueuses, une visite obligée la villa Kerylos construite et meublée sur le modèle des villas de la Grèce antique, une petite merveille à conseiller.

少し海沿いを離れMoyenne Corniche モワイエンヌ コルニッシュ を通って内陸に入ると、3段の岩山からなる**エズ・ヴィラージュ**が見えてくるでしょう。この村の頂上からの見晴らしはまさに絶景で、プロヴァンス・リグーリア地方の中でも最も美しい村ということもあり、1年を通して観光客が絶えません。有名な哲学者、フレデリック・ニーチェが滞在したこともあり、“ニーチェの小道”があります。エズに来たなら、やはりシャトー・レストラン、シェーブル・ドールに泊まるか、ホテル内のミシュラン2つ星のレストランでのお食事が最高です。まさに天国にいるような気分を味わってくれるので、日本の男性の皆様、新婚旅行ならば間違いなく奥様に喜ばれるはずですよ。

Quittons un instant la route de bord de mer, en passant la moyenne corniche en direction d' **Eze**, village en forme de 3 étages, le point le plus haut et le plus visité, retiendra notre attention. Ce village est un des plus beaux de Provence Ligurie par son magnifique point de vue, son château datant du XII ème siècle. Un célèbre visiteur, le philosophe Frédéric Nietzsche, marqua par sa présence un chemin qui porte son nom «le sentier dit de Nietzsche» reliant le village à Eze sur Mer. Une halte s' impose à l' hotel restaurant **la Chèvre d'or**, 2 étoiles au Guide

Michelin, véritable écrin paradisiaque, je le recommande à nos amis japonais en voyage de noces.....le plus beau cadeau à son épouse.

モナコ公国といえば毎年5月に開催されるF1のモナコグラン・プリで有名ですね。国土面積が非常に小さな国なので埋め立てて領土を広げる建設がとても盛んです。モンテ・カルロの高級ホテル、ホテル・ド・パリのある広場に面した同じ名前のカフェ・ド・パリで、アペリティフを一杯頂きましょう。グラン・カジノ入口に停まる高級外車や、カジノに出入りする正装した人々を眺めたりするだけでも楽しいですよ。

Poursuivons notre chemin sur la **Principauté de Monaco**, état indépendant, célèbre pour son grand prix automobile de formule 1 au mois de mai. Ce pays dont la superficie est tellement petite que toutes les constructions nouvelles doivent se développer sur la mer. Sur la place du Casino, vous admirerez un show de voitures luxueuses se garer et voir ainsi les plus grandes fortunes du monde devant l'entrée du Grand casino, tout en prenant l'apéritif sur la grande terrasse du Café de Paris, face à l'hotel du meme nom.



ついに国境の町マントンまで来ました。建築様式のみならずには定評があり、なんとといっても2月の中旬に催されるレモン祭り（ニースのカニバルと同時期です）でたくさんの観光客を引き付けています。山車と町中がレモンとオレンジで飾り付けられ、それはもう一つの芸術作品です。この町はコート・ダジュールの中でも特に温暖なところなので、ガーデニング好きに喜ばれるたくさんの美しい庭園や植物園が存在します。

マントン市庁所内の結婚の間もコクトーのファンなら彼の描いた壁画を一度は見ておきたいですね。毎年たくさんの日本人カップルが思い出のために“再結婚式”を挙げに訪れます。

Enfin, nous arrivons sur la ville frontiere de **Menton**, petite perle architecturale, attire la foule par sa fête du citron, mi-fevrier :(possibilité d'assister en même temps au Carnaval de Nice), les chars et toute la ville sont magnifiquement décorés d'oranges et de citrons. Des parcs remarquables et jardins privés, bénéficiant d'un micro climat exceptionnel, satisferont pleinement les amateurs de botanique. Au centre, visitez l'hôtel de ville, sa salle des mariages. Dessinée par Jean Cocteau où de nombreux couples japonais se re ! marient dans cette pièce, pour le plaisir.

最後に観光客にいいお知らせがあります。アルプ・マリタイム県内どこへでもバスの片道料金が1ユーロです。環境保護政策の一つとして、車での移動を減らして公共交通機関を利用してもらうと、地方自治体が協力して実現した取り組みです。

それではフレンチ・リビエラよ、オルヴォワール！

Bonne nouvelle à savoir pour les touristes qui visitent notre région! Depuis quelques années, les transports par bus dans le département des Alpes Maritimes sont à 1euro aller simple, peu importe les destinations! Ceci grâce au Conseil des A/M et la Mairie de Nice qui, dans le cadre de la préservation de l'environnement, incitent ainsi les automobilistes à laisser leurs voitures au garage et utiliser les transports en commun. :

Au revoir French Riviera !!!

総会



1993 再発足第1回総会 (ブリュネ元駐日総領事記念講演)

全国日仏協会の集い 協会創立25周年

高知日仏協会は1983年に発足、以後、会長不在などもあって休眠状態が続き、93年8月再スタート、本格的な活動を展開してきました。2008年には創立25周年記念祝賀会も行いましたが、今年がちょうど実動20年にあたります。そこでこの間の足跡を写真で振り返ってみました。



2000 マルモッタン美術館一行来高



1994 トランキエ総領事歓迎レセプション

交流



1992 ベルシ総領事来高、県庁訪問



2008 創立25周年式典



2002 マンガ「国際交流のタベ」



1996 四国日仏連絡協議会



2008 創立25周年記念「ホルン」コンサート



元NHKキャスター 磯村尚徳さん

特別講師

元駐仏大使 本野盛幸さん

元駐仏大使



1994 第1回訪仏ミッション



2001 仏高校生招聘 (トゥールーズ・オゼンヌ高校)



2009 ワインセミナー



2002 ヒゴさんの「パンづくり教室」



2004 ボジョレ・ヌーボー電車



フレデリックとナディヌ



ジェロームとアマン



ジャン(右から2番目)

事業

- トゥール商業・経営高等学校 研修生一覧 (県内受け入れ機関)
- 1996年 ナディヌ (サニーマート) フレデリック (高知バレスホテル)
- 1996年 ガエル・ルバン (城西館) ファブリス・シュバリエ (高知バレスホテル)
- 1998年 ジェローム・パコ (高知バレスホテル) ジュリアン・エレット (オリエンホテル高知)
- 1999年 アコンジュ・ゴマ (高知バレスホテル)
- 2000年 セドリック・デュース (高知バレスホテル) パスティン・ルフラン (西岡寅太郎商店)

- 2001年 ウシエット・ルドルフ (高知バレスホテル) リデリック・ジュブーノ (テレビ高知)
 - 2002年 リボー・エリ (高知バレスホテル) クリストフ・アヤード (高知市役所)
 - 2003年 オリヴィエ・ヴァレ (高知バレスホテル) ステファニー・アムール (高知市役所)
 - 2005年 ジャン・ブシュリー (四国文教サービス)
 - 2006年 マサ・ブノワ・レモン (四国文教サービス)
 - 2007年 ガイッド=マリ=アソドリアナグボ (四国文教サービス)
 - 2008年 レジス・ガベル (四国文教サービス)
 - 2009年 ウィリアム・エコボ (四国文教サービス)
 - 2010年 マクサンス・ウエルク (四国文教サービス)
 - 2011年 シルヴァン・ルクレル (四国文教サービス)
- ※高知市役所は市文化振興事業団、四国文教サービスは「BOOK-OFF」各店。研修生=敬称略。



協会報

これら35号を数えている



2011 高知バレスホテル



1999 旭ロイヤルホテル



2003 城西館

2002 北川村「モネの庭」マルモッタン

パリ祭



ボンジュール パリ——高知市旭町の専門学校「国際デザイン・ビューティカレッジ」トータルビューティ科の学生17人が2月末、11日間の日程でエステティック<esthétique>の母国、フランスを訪問。パリの提携校の「フラヴィア・パルメイラ」(Flavia Palmeira)メイクスクールで初めての研修を行った。

これまでの研修・修学旅行とは異なる本格的な学習プログラムで、同校ではパリコレなどを手がけたトップメイクアップ・アーティストのパルメイラ校長が自ら講師を務め指導。学生たちはベルサイユ宮殿、ルーヴル美術館など多くの文化遺産に触れ、本物の建造物、絵画、装飾品の数々から美容文化を肌で感じて、メイクに生かし多彩に学んだ。

ほぼ1週間、デモンストレーションと実習の毎日で、メイクの基本、形態学から、20年代のパリコレ風メイク(スモーキーアイ) 50年代のピンナップ、17世紀マリーアントワネット、80年代のロックンロールと多くの課題に挑戦、一方で同校の学生モデルも加わって作品を仕上げ、メイク終了後はヘアウィッグを付けてカメラに収めた。引率教員の廣瀬美代子さんは「外国人モデルの骨格や異国文化の違いは刺激的で、すべてが新鮮に映り、学生たちは研修を通じてフランスをより近くに感じたことと思う」と話しており、高知のメイクアップアーティストの卵たちが、本場で学んだことを心の糧に大きく飛躍するものと期待されている。

国際デザイン・ビューティカレッジ生
エステの本場パリで研修



高知日仏協会会則(抜粋)の見直し試案

当協会の会則は1992年8月に制定、2008年7月に一部改正しておりますが、一部表記の是正、会員増を図るための方向をめざす内容にとの意見もあり、以下のように試案をまとめました。次期総会に提案の予定になっています。

- (改正案)<名称> 第1条 本会は、高知日仏協会(Association Franco-Japonaise de Kochi)という。
- (現行) 本会は、高知日仏協会(Société Franco-Japonaise de Kochi)という。
- (改正案)<会員> 第5条 本会は、本会の主旨に賛同する者をもって組織し、会員は次の通りとする。
1.法人会員 2.一般会員 3.学生会員 4.準会員 5.名誉会員 6.顧問
- (現行) 本会は、本会の主旨に賛同する者をもって組織し、入会には本会員の紹介を必要とする。会員は次の通りとする。
1.学生会員 2.普通会員 3.賛助会員(法人会員) 4.名誉会員 5.顧問
- (改正案) 第6条 会員の資格は、次の場合に失われる
1.定められた年会費を1年以上滞納し、事務局から納入要請(通知)に対し、3か月を経過後も会員として継続の意思を表明しない場合 2.会の名誉、信用を著しく棄損し、あるいは会に損害を与えた場合 3.本人の死亡
- (現行) 1.本人の死亡 2.定められた年会費を1年以上滞納し、事務局からの勧告通知を3か月経ても会員として継続する意思を表明しなかった場合 3.会の名誉を著しく棄損し、あるいは会に損害を与えた場合
- (改正案) 第7条 本会に下記の次の役員をおく。
会長1名 副会長5名以内 理事若干名 専務理事若干名 監事2名 事務局長1名 理事および監事は会員の中から総会において選任する。会長、副会長は理事の互選とし、専務理事、事務局長は理事の中から会長が委嘱する。
- (現行) 会長1名 副会長5名以内 理事若干名 専務理事1名(以下同)
- (改正案)<会議> 第10条 本会の会議は定期総会、臨時総会および理事・役員会とする。必要に応じて運営委員会を設けることができる。
- (現行) 本会の会議は定期総会、臨時総会および理事会とする。(以下同)
- (改正案)<会計> 第14条 本会の経費は 年会費、特別会費、寄付金、その他の収入をもってこれにあてる。
年会費 法人会員10,000円 一般会員5,000円 学生会員2,000円(準会員は原則徴収しない)
- (現行) 年会費 法人会員10,000円 一般会員5,000円 学生会員2,000円

以上

FRANCE A LA CARTE

ロック紙の「中日」「中国」「西日本」、さらに地方紙はほとんどが地方名、県名を重ねているが、「北國」(ほっこく)「新日本海」などもあり「秋田魁(さきがけ)新報」は唯一個性的な紙名だ。

れていた。日本での公開は4月7日の予定。

仏映画、米で8冠

映画界最大の祭典、米アカデミー賞の今年作品賞にフランス映画「アーティスト」(ミシェル・アザナヴィシウス監督)が選ばれ、監督賞、主演男優賞(ジャン・デュジャルダン)など5冠を獲得、同映画は前しょう戦のゴールデングローブ賞でも作品、主演男優、作曲賞(リュドヴィック・ブルース)の3賞にも輝いており、合わせて8冠を制した。84年の歴史を誇るアカデミー賞でフランス映画の作品賞は初めてとなった。

「アーティスト」は無声、モノクロの手法で1920年代ハリウッドを舞台に、サイレント映画俳優とトーキー移行後のスター女優の恋を描いた異色作。サイレント・スタイルの映画が作品賞を受賞したのは1929年の第1回の「つばさ」以来。「アーティスト」はアカデミー賞の10部門でノミネートさ

ゴミ箱に吸い殻消し

喫煙者にひややかな視線が送られるのはどこの国でも同じ——パリの日本語新聞「オヴニー」によると、穴のあいたステンレス製のプレートの取り付けられたゴミ箱が同市内の路上2000か所に設置されているという。タバコの吸殻のポイ捨てがあとをたたく、このプレートで火を消し、中のゴミ袋に捨ててという次第。

ポイ捨ての量が年間315トというから半端じゃなく、業をにやした作戦で、2014年までにすべてのゴミ箱(3万個)に取り付け、完了後はポイ捨てには35ユーロの罰金が課せられることになるそうだ。設置完了まで目こぼしのようだし、すでに公共施設、事務所、飲食店などでの喫煙は禁止されており、このゴミ箱設置場所が喫煙場所になるような気もするし、なんだか路上喫煙OKのような、おらかな感じがしないでもない。

ルモンドは“世界”

「Voici la France —フランスを知るために」(在日フランス大使館刊)の08年版によると27%のフランス人が「新聞を毎日読んでいる」と書かれている。日本人はそれをかなり上回ると思われるが、フランスの代表的新聞「ル・モンド」をはじめ、世界の新聞紙名は、日本の各紙とは大分趣が異なるようだ。そこでうんちく。

「Le Monde」(ル・モンド)のmondeは大きく「世界、宇宙」の意。米のシカゴ・トリビューンなど「トリビューン」(tribune)を冠した新聞も多いが、こちらは「人民擁護者」の意がこめられている。ドイツで有名な「フランクフルター・アルゲマイネ」(Frankfurter Allgemeine)のアルゲマイネは「普遍、一般的、おおよそ、国民」を指している。かつての共産圏ロシアの「プラウダ」(Pravda)の原義は「真理」、「イズベスチヤ」(Izvestiya)は「ニュース」などなど。

さて、わが国「朝日新聞」「読売新聞」「夕刊フジ」などいかに日本でも「毎日新聞はdaily」と解釈できなくもない。プ

大きな円窓から見えるサクレクル寺院。今も駅舎の雰囲気を残すパリの「オルセー美術館」(Mysée d'Orsay)。

誕生が1986年と意外に若いのは驚きだった。年間300万人を超す集客を誇りルーヴルと人気を二分する。19世紀美術を収蔵、印象派、ポスト印象派、マネ、モネ、ロートレック、ゴッホ、ルソーらの名作が堪能でき、昨年、開館以来の大改装が完了「より良い環境での鑑賞環境」が実現した。最寄り駅は地下鉄ソルフェリーノ(Soiférino)駅から徒歩5分。

改装、オルセー



新玉ネギの冷製スープ

甘くて美味しいこのスープは新玉ネギでないと絶対に作れません。

〇〇〇 材 料 〇〇〇 4人分

新玉ネギ……………500g	生クリーム……………30cc
バター……………20g	パセリ……………適量
オリーブ油……………適量	塩……………小さじ1弱
牛乳……………100cc	

〇〇〇 作り方 〇〇〇

- ① 新玉ネギは3センチくらいにスライスする
- ② 鍋にバターとオリーブ油を入れ熱して溶かし、①を入れて炒める
- ③ オーブンを予め170度に温めておき、②を入れ15分間調理する
その間、5分おきに取り出して混ぜる
- ④ ③を出して粗熱がとれるまでそのまましておく
- ⑤ ④をミキサーにかける ミキサーが回らなければ水を少し加える
- ⑥ ボウルに移し、別のボウルに氷を用意して冷やす
- ⑦ 牛乳・生クリーム・塩をして味を調えて仕上げる
- ⑧ 冷やしておいたスープカップに注いでパセリのみじん切りを浮かす

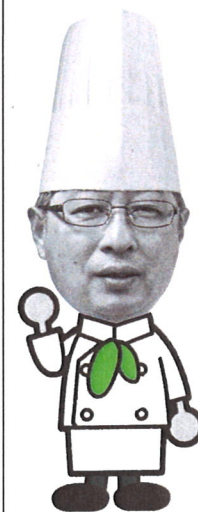


新玉ネギのフライを浮き身にすると芳ばしく頂けます。
(作り方：新玉ネギはスライスし、水にさらしてから良く水分を取り除き、小麦粉をまぶして170度の油でカリッと揚げます。揚げたら広げて冷まします)。

高知パレスホテル 田中シェフの



田中秀典シェフの横顔



高知市出身。高知西高―大阪あべの辻調理師専門学校卒業。大阪・心齋橋フランス料理「ロベスタロ・ヴァンサンク」、三翠園ホテルを経て高知パレスホテル入社、現在同ホテル、フランス料理「ラ・プランセス」料理長。ソムリエ呼称資格。



プレゼントのお知らせ

4月8日から高知県立美術館で開く「特別展<シャガール 愛の物語>」(1面参照)の招待券を同美術館のご好意により、会員10人に贈られることになりました。①招待券希望 ②郵便番号・住所 ③氏名をお書きのうえ、協会事務局宛 FAX(820-1017)で、ご応募ください。先着順でお送りいたします。

ARC-EN-CIEL 第35号	鎌倉日仏協会会報	BULLETIN No186	広島日仏協会会報
Lapin Blanc Vol 21	鳥取日仏友好協会会報	Nouvelles No131,132	日仏会館通信
FJ Kyoto No 31	京都日仏協会会報	日仏文化 No80	日仏会館冊子

事務局近着資料

P'tite note

編集後記

1983年、四国4県の日仏協会の中で、最も早く創立された当協会も今年で31年目。93年再発足当時の写真に見る会員の皆さんは、さすがに若々しいものの、会員の平均年齢は歴史とともに高まっています。現会員のかくしゃくぶりには目を見張りますが、なんといっても若い世代の会員増が待たれます、課題です。再び「Bon courage!」(ボン・クラージュ)「頑張ろう高知日仏」。(S)